The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	デンマークの大学運営への学生参画状況
Author(s)	堀井, 祐介
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2007, 17, p. 301-320
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/96445
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

デンマークの大学運営への学生参画状況

堀井 祐介

1. はじめに

平成16年度より認証評価が法令で義務化され，我が国の高等教育関係者の間でも認証評価および各認証評価機関の活動への注目が高まり，学内外において評価を取り上げたセミナー，シンポジウムが頻繁に開催されるようになってきた．また，国立大学法人化を契機に，国立大学法人だけでなく，公立大学，私立大学の大学運営についても関心が寄せられるようになっており，いくつかの大学院においては大学アドミニストレータ講座などが開設されている．新聞，雑誌等のマスコミにおいても大学に関するトピックが取り上げられることが多くなり，大学の社会的位置付け，意味合いについて広く関心を集めてきている．

一方で，これらの流れに先行して，社会および高等教育関係者の大学教育力への関心も高まってきている．大学教育力を高めるためにＦＤ (Faculty Development) が実施され，その一環として，授業評価アンケート，公開授業などが盛んに行われるようになり，これまでただ授業を受けるだけの存在であった学生が，大学教育に対しては，一定の影響力を持つようになってきた．しかし，依然として，大学組織の重要な構成員である学生は，利害関係者 (stakeholder) として位置付けられてはいるが，サービスを受ける側，顧客的に扱われており，大学評価，大学運営の当事者とはされていないのが現状である．

そのことは，現在の日本における大学運営，大学評価の体制を見てみると明らかである．日本のほぼ全ての大学において，最高意思決定機関である理事会，役員会，評議会，協議会等は，理事長，学長をトップとして，理事，教職員，外部有識者から構成されている．また，大学評価・学位授与機構，大学基準協会をはじめとする大学評価機関の実際に評価を行うメンバーを見ても，大学理事者，教職員，外部有識者である．

このように，日本では，大学運営，大学評価は，理事者，教職員，外部有識者等の「大人」が行うものであり，学生はお客様として「子供」扱いされてきている．確かに，日本の学生は，卒業して社会に出るまでは，欧米の学生と比べて社会に対する関心が希薄であり，大学時代はモラトリアムとして「子供」時代の延長であるということはよく言われているが，一方で，大学を含む社会の側も生徒，学生が社会性を獲得する仕組みを作ってこなかったことも事実である．日本と欧米諸国とは社会的，文化的背景が異なるとはいえ，今後，高等教育がますます

世界規模で展開されるなかで，大学運営，大学評価への学生参画は，グローバルスタンダードとして日本の高等教育界においても避けて通れない課題である．また，大学運営，大学評価への学生参画は，学生の大学教育への参画である授業評価アンケートなどのＦＤの延長線上に位置付けられるものであると言っても過言ではない．このように，大学にとって重要な利害関係者である学生が，大学の教育だけでなく，大学の活動全般に関わる大学運営，大学評価に参画することは，日本の高等教育の将来像には欠かせない要素となるものと思われる．

そこで，本稿では，今後の日本の大学運営における学生参画の可能性の検討に役立てるため，大学運営における学生参画先進国であるデンマークの現状について，デンマーク各大学における，理事会を最高決定機関とする運営体制，学則上の理事会メンバー規程，理事会メンバー一覧，学生代表の選出方法などについて紹介する[1]．

分析方法としては，現時点での大学の運営体制についての調査のため，根拠資料は，出版物ではなく Web 上で公開されているもの（2006 年 11 月 1 日時点）を用いた．

2. 大学法と大学所管

デンマークでの個別大学の運営体制を見る前に，デンマークにおける大学を規定する法律について見てみる． デンマークでは 2003 年 5 月に公布された大学法 (Universitetsloven) により，大学の運営，研究，教育，組織枠組が規定されている．この法により，大学は国から離れ，柔軟な運営が可能な独立した機関となった．大学法の目的は，「デンマークの大学における研究および研究に基づく教育を国際的に最高なレベルへと推進すること」である．この法は，科学技術開発省[2]（以下 VTU と略）所管の大学に適用され，大学の活動，組織，補助金等の枠組み等を定め，理事会，学長，学部長，学科長，学生部長等の権能を定め，関連諸機関，研究協議会，大学・学生協議会との関係を規定するものとされている．

大学が文部科学省所管となる日本と異なり，デンマークでは，大学は VTU 所管となる．より具体的には，VTU 傘下の大学機構庁[3]（以下 UBST と略）が直接の所管官庁となっている．VTU の前身 Forsknings- og Teknologiministerium は 1993 年に設立されており，1998 年に大学の所管省庁が文部省[4]から VTU へ移っている．2000 年には再び文部省所管へと戻ったが，2001 年には再び VTU 所管となった．2003 年に新たな法が公布され，大学は国から離れた独立機関となり，国による規制から離れただけでなく，新たな執行部体制の下，柔軟な運営が出来るようになった．新たな執行部体制は，その過半数が大学外部の人間で構成され，かつ理事長も外部から登用されることが大学法に明記されている．

3. 大学法における理事会の位置付け

大学法[5]（2003/05/21 公布）において理事会は，以下のように規定されている．

第 3 章
意思決定 (Styrelsesbestemmelser)
理事会 (Bestyrelsen)
第 10 条
理事会は大学の最高意思決定機関である．理事会は，教育・研究といった大学の重要な活動を所掌し，その組織，長期展望に立った活動，発展の方向性を決定する．
中略
第 7 項　理事会は，学長を任命し解任する．また，理事会は，学長からの推薦に従い，他の最高執行部メンバーを任命し解任する．
以下略
第 11 条
理事会は，大学全体の資源管理・運営を含む大学活動について，大臣に対して責任を負う．
以下略

また，大学運営への学生参画の法的根拠として，大学法において，以下のように規程されている．

第 12 条
理事会は，外部からの理事および大学内部からの研究者代表（雇用されている博士課程学生を含む），管理運営専従者，学生から構成される．理事会は，その過半数が大学外部からの委員で構成される．理事会は，その理事会議長を外部理事から選出する．
第 2 項　理事会構成員は，一体となって，教育，研究，情報共有，情報交換において，自らの経験，知識を活かして，大学の戦略的活動を推進することに貢献しなければならない．
第 3 項　外部理事は，その個人的能力により任命され，任期は 4 年である．再任は一回限りとする．外部理事は，その上，運営，組織，予算，会計面を含む経済についての経験を持っていなければならない．
第 4 項　その他の理事は，研究者（雇用されている博士課程学生を含む），管理運営専従者，学生からそれぞれ選出される．最低 2 名の理事が，学生代表

でなければならない．研究者（雇用されている博士課程学生を含む），管理運営専従者から選出される代表は，同種の職に就くものと同様に，解雇やその他の降格処分から守られている．

第5項　第1項から第4項までの理事会委員の任命については，学則で定められる．

大学法は，以下のVTU/UBST管轄の全ての大学に適用される．

現在デンマークにある12の大学（VTU/UBST所管大学一覧）

Aalborg Universitet（オルボー大学）　http://ekstern.aau.dk/

Aarhus Universitet（オーフース大学）　http://www.au.dk/index.jsp

Danmarks Farmaceutiske Universitet（デンマーク薬科大学）
http://www.dfuni.dk/

Danmarks Pædagogiske Universitet（デンマーク教育大学）
http://www.dpu.dk/

Danmarks Tekniske Universitet（デンマーク工科大学）
http://www.dtu.dk/

Den Kgl. Veterinær- og Landbohøjskole（デンマーク王立獣医農業大学）
http://www.kvl.dk/

Handelshøjskolen i Århus（オーフース商科大学）　http://www.asb.dk/

Handelshøjskolen i København（コペンハーゲン商科大学）
http://www.cbs.dk/

IT-Universitetet i København（コペンハーゲン情報技術大学）
http://www1.itu.dk/

Københavns Universitet（コペンハーゲン大学）　http://www.ku.dk/

Roskilde Universitetscenter（ロスキレ大学センター）
http://www.ruc.dk/

Syddansk Universitet（南デンマーク大学）　http://www.sdu.dk/

4. 個別大学の運営体制

以下に，学則に見る理事会の構成，理事一覧を各大学のWebページで公開されている形に則って紹介する．理事一覧は，その所属，選出母体がわかるような情報を理事名の後につけてあるが，外部理事で肩書きが多数にわたる場合は，その代表的なものをつけた．また，Web上で学生理事選出母体についての記述がある大学については，それについてもあげた．

○Aalborg Universitet（オルボー大学）

学則に見る理事会の構成

第３章

運営体制

理事会

中略

第 10 条　理事会は 11 人の理事から構成される．そのうち６名は大学外部からの理事，２名は研究者代表（雇用されている博士課程学生を含む）である．研究者代表は，別々の学部から選出されなければならない．そのほか，１名は管理運営専従者，２名は学生代表である．

中略

第４項　大学内部から選出される理事は，それぞれ，研究者グループ，管理運営専従者グループ，学生グループにより，そのグループの中から選出される．

以下略

理事一覧

外部理事：

Jørgen Elbæk (Vice President og medstifter af det nordjyske firma RTX Telecom A/S)
（(株) RTX Telecom 共同創立者，副社長）

Kari Tove Elvbakken (forskningsdirektør ved Stein Rokkan Senter for flerfaglige samfunnsstudier i Bergen)
（ベルゲン Stein Rokkan Senter 研究部長）

Freddy Frandsen (fhv. administrerende direktør for Aalborg Industries A/S)
（(株) Aalborg Industries 前社長）

Frank Jensen (formand, folketingsmedlem og fhv. justitsminister og forskningsminister)
（理事会議長，国会議員，前法務大臣，前研究担当大臣）

Anne Knudsen (chefredaktør og administrerende direktør ved Weekendavisen)
（Weekendavisen 主筆兼社長）

Birgitte Possing (seniorforsker ved Rigsarkivet)
（デンマーク国立公文書館上級研究員）

内部選出理事：

Gunhild Agger (lektor i kommunikationsteori ved Institut for Kommunikation)
（コミュニケーション学科講師）

Lars Arendt-Nielsen (professor ved SMI, Center for Sanse-Motorisk Interaktion)
（生物医学工学センター教授）

Merete Pedersen (husadministrator i Studenterhuset)（学生会館管理人）

学生選出理事：

Morten H. Madsen (stud. samfundsøkonomi)（社会経済学専攻学生）

Anders Hvashøj (stud. civilingeniør)（土木工学専攻学生）

学生理事は２名とも学生団体である Studentersamfundet[6] から選出されている（理事の履歴参照）．このことは，Studentersamfundet 会則第 9 章 32 条に，「政治活動委員会メンバーとして，２名の大学理事会学生理事」という記載がある[7]．

○Aarhus Universitet（オーフース大学）

学則に見る理事会の構成

第 3 章

理事会

構成

第 15 条　理事会は全部で 11 人の理事から構成される．

６名は大学外部からの委員

１名は人文学部，社会学部，神学部の研究者により，その中から選出される

１名は医学部，自然科学部により，その中から選出される

１名は管理運営専従者により，その中から選出される

２名は正規課程学生[8] により，正規課程学生の中から選出される学生代表

第 2 項　理事会は，外部理事からその理事会議長とその代理者を選出する．

理事一覧

外部理事：

Jens Bigum (formand, tidligere administrerende direktør i Arla Foods amba)
（理事会議長，（株）Arla Foods 前社長）

Sys Rovsing (stedfortræder, advokat og partner i Nordens største advokatvirksomhed, interessentskabet Bech-Bruun Dragsted)
（Bech-Bruun Dragsted 法律事務所弁護士・パートナー）

Annette Kruhøffer (konsulent)（コンサルタント）

Johannes Riis (Litterær direktør på Gyldendal)（Gyldendal 出版社文芸部長）

Arne Josefsen Rolighed (administrerende direktør i Kræftens Bekæmpelse)
（Kræftens Bekæmpelse（ガン撲滅運動）代表）

Arild Underdal (Professor i international politik, Oslo Universitet)
（オスロ大学教授（国際政治学））

内部選出理事：

Jens Ulrik Andersen (professor ved Institut for Fysik og Astronomi, Aarhus Universitet)
（物理天文学科教授）

Jørgen Grønnegård Christensen (Professor ved Institut for Statskundskab, Aarhus Universitet)（政治学科教授）

Kirsten Jakobsen (Afdelingsleder ved Juridisk Institut, Aarhus Universitet)（法律学科長）
学生選出理事：
Anne Bundgaard Christensen (kandidatstuderende på informationsvidenskab)
（情報科学専攻修士課程学生）
Simon Krøyer (Stud.scient.pol. ved Aarhus Universitet, Formand for Studenterrådet ved Aarhus Universitet)（政治学専攻学生，オーフース大学学生自治会代表）
学生選出理事の出身母体については不明.

○Danmarks Farmaceutiske Universitet（デンマーク薬科大学）
学則に見る理事会の構成
理事会
中略
第４条　理事会は11名で構成される.
６名は外部理事
２名は研究者（雇用されている博士課程学生を含む）により，その中から選出される
１名は管理運営専従者により，その中から選出される
２名は学士課程または修士課程学生の中から，学生により選出される
内部理事の選出は，デンマーク薬科大学選挙規定に沿って行われる.
第２項　理事会は，外部理事からその理事会議長とその代理者を選出する.
理事一覧
外部理事：：
Nils Strandberg Pedersen (formand, dr.med. adm. direktør, Statens Serum Institut)
（理事会議長，国立血清研究所所長）
Aase Helles (næstformand, cand.pharm. Vice President for Intellectual Property Rights, Nycomed Danmark)
（理事会副議長，（株）Nycomed Danmark 知的財産担当副社長）
Peter Kurtzhals (ph.d. (pharm.), Senior Vice President, Novo Nordisk's internationale forskningsorganisation Discovery)（(株) Novo Nordisk 国際研究機構上級副社長）
Birgitte Nauntofte (professor, dr.odont., Københavns Universitet, Det Sundhedsvidenskabelige Fakultet)（コペンハーゲン大学健康科学部教授）
Hans Ulrik Schaffalitzky de Muckadell (cand.pharm., apoteker, Svendborg Løve Apotek)（Svendborg Løve Apotek 薬剤師）
Jannik Johansen (lic.scient., rektor, Frederiksberg Gymnasium)
（フレズレクスベア高校教諭）

内部選出理事：

Bente Gammelgaard (ph.d. (pharm.), lektor, Institut for Farmaci og Analytisk Kemi)
(薬学分析化学学科講師)

Harald S. Hansen (professor, dr.scient., Institut for Farmakologi og Farmakoterapi)
(薬物・薬物療法学科教授)

Tove Eckhardt (laboratoriekoordinator, Institut for Farmaci og Analytisk Kemi)
(薬学分析化学学科実験室コーディネーター)

学生選出理事：

Pernille Miller, stud.pharm., årgang 2002（薬学専攻学生）

Jacob Odgaard, stud.pharm., årgang 2002（薬学専攻学生）

De Studerendes Råd på Danmarks Farmaceutiske Universitet（デンマーク薬科大学学生自治会）[9] から学生理事が選出されている[10].

○Danmarks Pædagogiske Universitet（デンマーク教育大学）

学則に見る理事会の構成

第２章　理事会

中略

第４条　理事会は 11 人の理事から構成される．そのうち６名は大学外部からの理事，２名は研究者代表（雇用されている博士課程学生を含む），１名は管理運営専従者，<u>２名は学生代表である．</u>

中略

第５項　理事会は外部理事の中から理事会議長と副議長を多数決により選出する．

理事一覧

外部理事：

Kjeld Holm (formand, Biskop Aarhus Stift)（理事会議長，オーフス教区司教）

Jarl Bengtsson (tidligere direktør for CERI/OECD)
（OECD（経済協力開発機構）の一部門である CERI（Centre for Educational Research and Innovation，教育関連調査改革センター）前部長）

Lone Dirckinck-Holmfeld (forskningsprofessor på Aalborg Universitet)
（オルボー大学研究教授）

Anne E. Jensen (medlem af Europaparlamentet)（欧州議会メンバー）

Hans Edvard Nørregård-Nielsen (formand for direktionen for Ny Carlsbergfondet)
（ニューカールスベア財団理事会議長）

Uffe Gravers Pedersen (næstformand, vicerektor for Europaskolen i Culham, England)
（理事会副議長，英国ヨーロッパスクール副校長）

内部選出理事：

Cathrine Hasse (lektor ved Institut for Pædagogisk Psykologi, repræsentant for de videnskabelige medarbejdere)（研究者選出，教育心理学科講師）

Søren Kruse (lektor ved Institut for Curriculumforskning, repræsentant for de videnskabelige medarbejdere)（研究者選出，カリキュラム研究学科講師）

Jørgen Johansen (servicemedarbejder i IT og Service, repræsentant for de teknisk-administrative medarbejdere)
（管理運営専従者選出，情報サービス部門職員）

学生選出理事：

Lone Søgaard Ciesla (kandidatstuderende, repræsentant for de studerende)
（修士課程学生）

Lotte Mundus Nikolajsen (kandidatstuderende, repræsentant for de studerende)
（修士課程学生）

De Studerendes Råd ved Danmarks Pædagogiske Universitet（デンマーク教育大学自治会）[11] に理事会委員選出についての記載がある．

○Danmarks Tekniske Universitet（デンマーク工科大学）

学則に見る理事会の構成

第２章

大学運営

理事会

中略

第４条　理事会は10名から構成される．その構成は以下のとおり：

a）６名の外部理事．その個人的資質において任命される．任期は４年．

b）２名は大学教職員から選出される．そのうち１名は研究者グループにより，その中から選出される．もう１名は管理運営専従者グループにより，その中から選出される．ともに任期は４年．

c）<u>２名は **DTU** の学生により，学生の中から選出される</u>．任期は２年．

第２項　理事会議長は，外部理事より選出され，その任期は４年である．

以下略

理事一覧

外部理事：

Mogens Bundgaard-Nielsen (formand, Civilingeniør 1963, HD 1970. Direktør)
（理事会議長，社長）

Birgit W. Nørgaard (Cand. merc., MBA, adm. direktør Carl Bro A/S)
（(株) Carl Bro 社長）

Finn Helmer (Cand. polyt., direktør)（社長）

Lena Gustafsson (B.Sc., ph.d., professor, prorektor Chalmers)
（Chalmers（スウェーデンの工科大学）教授兼副総長）
Jens Rostrup Nielsen (Cand. polyt., dr. techn., forskningsdirektør i Haldor Topsøe)
（(株) Haldor Topsøe の研究部長）
Mads Krogsgaard Thomsen (Koncerndirektør på Novo Nordisk)
（(株) Novo Nordisk の部門長）

内部選出理事：

Dan Rosbjerg (Cand. polyt., ph.d. i hydrologi og dr. techn. Valgt af og blandt det videnskablige personale)（研究者選出，工学博士）
Merete Bolgann (Kontorfuldmægtig i Afdelingen for Økonomi og Regnskab. Valgt af og blandt det teknisk-admininstrative personale)
（管理運営専従者選出，経済・財務部主任）

学生選出理事：

Esben Rugbjerg (Stud. polyt., valgt af og blandt de studerende. Valgt blandt de studerende)（工学専攻学生）
Jon Christian Staffeldt (Diplomingeniørstuderende. Valgt af og blandt de studerende)
（工学専攻論文博士課程学生）
学生選出理事の出身母体については不明.

○Den Kgl. Veterinær- og Landbohøjskole（デンマーク王立獣医農業大学）

学則に見る理事会の構成

第３章

理事会

第４条　理事会は，理事会議長を含む５名の外部理事およびデンマーク王立獣医農業大学の学生，教職員により，それらの中から選出される４名から構成される.

中略

第３項　５名の外部理事の任期は４年．再任は一回可能．その他の学内理事の選出は以下のとおり：

選出母体Ａ（第 45 条第 2 項参照）の選挙権を持つものは，継続的に常勤で雇用されている研究者（雇用されている博士課程学生を含む）から１名選出する.

選出母体Ｂ（第 45 条第 3 項参照）の選挙権を持つものは，継続的に常勤で雇用されている管理運営専従者から１名選出する.

選出母体Ｃ（第 45 条第 4 項参照）の選挙権を持つものは，デンマーク王立獣医農業大学に登録されている正規課程学生から２名選出する.

任期は，研究者代表，管理運営専従者代表は４年．しかし，研究者代表が雇用されている博士課程学生の場合は１年とする．学生代表の任期は１年．再任は可能．

以下略

第45条

第１項　選挙権・被選挙権は，それぞれ以下の第２項，第３項，第４項に定める選出母体Ａ，Ｂ，Ｃで定める．

第２項　（略）グループＡは，デンマーク王立獣医農業大学に常勤，非常勤で雇用されている研究者で，最低限半分はデンマーク王立獣医農業大学の業務を行い，デンマーク王立獣医農業大学と雇用契約を結んでいて，デンマーク王立獣医農業大学の通常予算で雇用されているものと，外部資金で雇用されているものからなる．理事会と教授会の選挙においては，このグループＡは雇用されている博士課程学生にまで拡大される．

第３項　（略）グループＢは，デンマーク王立獣医農業大学に常勤，非常勤で雇用されている管理運営専従者で，最低限半分はデンマーク王立獣医農業大学の業務を行い，デンマーク王立獣医農業大学と雇用契約を結んでいて，デンマーク王立獣医農業大学の通常予算で雇用されているものと，外部資金で雇用されているものからなる．

第４項　<u>デンマーク王立獣医農業大学に登録されている学生</u>

理事一覧

外部理事：

Erik Bonnerup (formand, Formand for Fondsrådet etc.)
（理事会議長，証券取引監視機関 Fondsrådet 理事長）

Lene Lange (Novozymes A/S)（(株) Novozymes）

Søren Alexandersen (Danmarks Fødevareforskning, afdeling for Virologi, Professor, dr.med.vet.)（デンマーク食品検査機構ウイルス学部門教授）

Henrik Høegh (Landbrugsrådet)（デンマーク農業食料関連企業団体）

Helle Ulrichsen (Hovedstadens Sygehusfællesskab)（首都圏病院機構）

内部選出理事：

Jan K. Schjørring (Professor, dr. agro. Landbohøjskolen)（教授）

Karen Meyn Christensen (Kontorfuldmægtig Landbohøjskolen)（主任）

学生選出理事：

Søren Elmer Kristensen (Biologistuderende Landbohøjskolen)（生物学専攻学生）

Gitte Nørlund Ravn (Stud.oecon.agro Landbohøjskolen)（農業経済学専攻学生）

学生選出理事の出身母体については不明．

○Handelshøjskolen i Århus（オーフース商科大学）

学則に見る理事会の構成

第３章

運営規則

理事会

中略

第４条　理事会は11名から構成される．

第２項　理事会構成員のうち６名は外部理事である．外部理事の任期は４年．再任（４年任期）は１度限り可．外部理事は理事会により任命される．退任理事は新任理事任命の選挙権を持つ．

中略

第７項　２名の理事は，任期４年で，理事選挙実施時に50%以上の雇用割合で雇用されている研究者（雇用されている博士課程学生を含む）の中から選出される．（以下略）

第８項　２名の理事は，任期１年で，理事選挙実施時に登録されている学生の中から選出される．（以下略）

第９項　１名の理事は，任期４年で，理事選挙実施時に50%以上の雇用割合で雇用されている管理運営専従者の中から選出される．（以下略）

第５条　理事会は，外部理事の中から，２年任期で理事会議長を選出する．理事会は同時に２年任期で副議長を外部理事の中から選出することが出来る．副議長は，議長不在時にその代理を務める．

以下略

理事一覧

外部理事：

Erik Højsholt (formand, bestyrelsesformand i AarhusKarlshamn AB. HD.)（理事会議長，（株）AarhusKarlshamn 会長）

Ole Guldberg Kjær (told- og skattedirektør i SKAT. Cand.polit.)（税務庁税金部長）

Eskild Lyngholm (formand for og medlem af flere virksomhedsbestyrelser. Cand.merc., IEP.)（複数企業において会長，取締役を兼任）

Jeannette Ørsted (Head of Translation, Plougmann & Vingtoft a/s. Cand.ling.merc., translatør og MPA.)（（株）Plougmann & Vingtoft 翻訳部長）

Marianne Stenius (rektor, PD, professor, Svenska Handelshögskolan, Helsingfors)（スウェーデン商科大学講師）

内部選出理事：

Anders Thorstenson (Professor, Handelshøjskolen - repræsentant for det videnskabelige personale)（研究者選出，教授）

Mette Neville (Professor Handelshøjskolen - repræsentant for det videnskabelige personale)（研究者選出，教授）

ISEK, Kirsten Knoth (Institutsekretær, Handelshøjskolen - repræsentant for det teknisk-administrative personale)（管理運営専従者選出，事務主任）

学生選出理事：

Thomas Mikkelsen (Stud.ling.merc. Handelshøjskolen - repræsentant for de studerende)（商業用語学専攻学生）

Thomas G. Ommen (HA-int-studerende, Handelshøjskolen - repræsentant for de studerende)（国際商業学専攻学生）

2003 年当時の学生理事は，Studenterlauget（オーフース商科大学学生自治会）[12] から選出されていることが，当時のニューズレターからわかる[13].

○Handelshøjskolen i København（コペンハーゲン商科大学）

学則に見る理事会の構成

第 2 章

運営規定

理事会

中略

第 5 条　理事会は，11 名または 13 名から構成される．現理事会が，次期理事会の理事数を前もって決める．11 名構成の場合，6 名の外部理事，2 名の研究者（雇用されている博士課程学生を含む）選出理事，1 名の管理運営専従者選出理事，2 名の学生選出理事からなる．13 名構成の場合，7 名の外部理事，3 名の研究者（雇用されている博士課程学生を含む）選出理事，1 名の管理運営専従者選出理事，2 名の学生選出理事からなる．理事会は，多数決により，外部理事の中から理事会議長と副議長を選出する．

以下略

理事一覧

外部理事：

Anders Knutsen (formand, Bestyrelsesformand i Danisco og LM Glasfiber Holding A/S)（理事会議長，（株）Danisco og LM Glasfiber Holding 会長）

Merete Eldrup (næstformand, Direktør i JP/Politikens Hus A/S).（理事会副議長，（株）JP/Politikens Hus 社長）

Peter Gorm Hansen (Adm. direktør for Kommunernes Landsforening)（地方自治体連合会会長）

Niels Kjeldsen (Direktør for og indehaver af Hylleholtgård A/S)

（(株) Hylleholtgård 社長兼オーナー）

Klaus Holse Andersen (Vice President, Microsoft, EMEA)

（Microsoft, EMEA（欧州・中東・アフリカ地域担当）副社長）

Peter Lorange (President for IMD)

（IMD（スイス・ローザンヌのビジネススクール）総長）

Kerstin Sahlin-Andersson (Professor ved Uppsala Universitet i Business Administration)（ウプサラ大学経営学部教授）

内部選出理事：

Jan Molin (Professor, Institut for Organisation og Arbejdssociologi)

（組織・労働社会学科教授）

Jens Frøslev Christensen (Professor, Institut for Industriøkonomi og Virksomheds-strategi)（産業経済・企業戦略学科教授）

Doris Hansen (Lektor, Institut for Fransk, Italiensk, Russisk, Spansk og Tysk)

（フランス語・イタリア語・ロシア語・スペイン語・ドイツ語学科講師）

Lars Thorsen (Informationskonsulent, Kommunikationsafdelingen)

（コミュニケーション部情報コンサルタント）

学生選出理事：

Maja Gottschalk Andersen (Stud.merc.)（商学専攻学生）

Christian Kryger (Stud.merc.dat.)（商学専攻学生）

De Studerendes Råd（コペンハーゲン商科大学学生自治会）[14]はあるが，学生選出理事の出身母体については不明.

○IT-Universitetet i København（コペンハーゲン情報技術大学）

学則に見る理事会の構成

第Ⅳ章

組織

中略

A　運営管理

中略

理事会

第６条　コペンハーゲン情報技術大学の理事会は，議長１名と８名の理事からなる．議長と４名の理事は大学外部から選出される．１名の理事は，コペンハーゲン情報技術大学の研究者により，その中から選出される．１名の理事はコペンハーゲン情報技術大学の管理運営専従者により，その中から選出される．<u>２名の理事はコペンハーゲン情報技術大学学生により，その中から選出される</u>.

以下略（理事選出の基準）

理事一覧

外部理事：

Mogens Munk-Rasmussen (formand)（理事会議長）

Lilian Mogensen (direktør kundeservice og HR, ATP)（労働市場付加年金機構部長）

Ingelise Bogason (adm. direktør, Birch & Krogboe)（(株) Birch & Krogboe 社長）

Jon Wulff Petersen (adm. direktør, Tech Transfer Office A/S)
（(株) Tech Transfer Office 社長）

Preben Damgaard (grundlægger af Damgaard Data)（(株) Damgaard Data 創業者）

内部選出理事：

Jane Andersen (udviklingsleder, IT-Universitetet)（改革推進担当）

John Paulin Hansen (lektor, IT-Universitetet)（講師）

学生選出理事：

Ulrik Vilhelm Falktoft (stud.it., IT-Universitetet)（情報学専攻学生）

Øjvind Harkamp (stud.it., IT-Universitetet)（情報学専攻学生）

学生選出理事の出身母体については不明.

○Københavns Universitet（コペンハーゲン大学）

学則に見る理事会の構成

第２章　理事会

中略

第７条　理事会は，11名から構成される．６名の外部理事，研究者（雇用されている博士課程学生を含む）により，その中から選出される２名の理事，管理運営専従者により，その中から選出される１名の理事，学生により，その中から選出される２名の理事である．

以下略

理事一覧

外部理事：

Bodil Nyboe Andersen (formand, Forhenværende direktør Danmarks Nationalbank)
（理事会議長，デンマーク国立銀行前総裁）

Claus Bræstrup (næstformand, Administrerende direktør H. Lundbeck A/S)
（理事会副議長，（株）H. Lundbeck 社長）

Boel Flodgren (Professor i Handelsret Lunds universitet)（ルンド大学教授）

Henrik Topsøe (Direktør Haldor Topsøe A/S)（(株) Haldor Topsøe 社長）

Poul Erik Tøjner (Museumsdirektør Louisiana)（ルイスィアナ美術館館長）

Jørn Lund (Direktør Det Danske Sprog- og Litteraturselskab)
（デンマーク国語・文学協会会長）

内部選出理事：

Jens Kristiansen (Professor Københavns Universitet)（教授）

Ingrid Kryhlmand (HK-fællestillidsrepræsentant Københavns Universitet)

（コペンハーゲン大学職員組合組合員）

Henrik Prebensen (Lektor Københavns Universitet)

（講師）

学生選出理事：

Thomas Antonsen (Stud.scient. Københavns Universitet)（理学専攻学生）

Anders Ehlers (Stud.jur. Københavns Universitet)（法学専攻学生）

Studenterrådet（コペンハーゲン大学学生自治会）[15]の Web ページに学生選出理事についての記載がある[16].

○Roskilde Universitetscenter（ロスキレ大学センター）

学則に見る理事会の構成

第２章

理事会

中略

第６条　理事会は９名から構成される．その構成は以下のとおり：

理事会に任命された５名の外部理事

研究者（雇用されている博士課程学生を含む）により，その中から選出される１名の理事

管理運営専従者により，その中から選出される１名の理事

学生により，その中から選出される２名の理事である.

理事一覧

外部理事：

Dorte Olesen (formand, direktør UNI•C)

（理事会議長，デンマーク教育研究情報技術センター部長）

Anne-Grete Lysgaard (næstformand, administrerende direktør, Lysgaard Rekruttering og Rådgivning A/S)

（理事会副議長，（株）Lysgaard Rekruttering og Rådgivning 社長）

Geir Ellingsrud (rektor, Universitetet i Oslo)（オスロ大学学長）

Frank Birkebæk (museumsleder, Roskilde Museum)（ロスキレ博物館館長）

Christian Nissen (foredragsholder og rådgiver mm. inden for bl.a. medier, organisationsudvikling og ledelse)（メディア，組織改革関連の講演者・アドバイザー）

内部選出理事：

Jeppe Dyre (professor)（教授）

Ulla Svanlundh (Kontorfuldmægtig)（主任）
学生選出理事：
Andreas Kvist Bacher (Studerende)（学生）
Rune Høgh (Studerende)（学生）
Studenterrådet (ロスキレ大学センター学生自治会)[17]の会則[18]に理事会委員候補者名簿を提出することが明記されている.

○Syddansk Universitet（南デンマーク大学）
学則に見る理事会の構成
中略
理事会
中略
第６条　理事会は９名から構成される．その構成は以下のとおり：
外部理事５名
研究者（雇用されている博士課程学生を含む）により，その中から選出される理事１名（選出グループ）
管理運営専従者により，その中から選出される理事１名（選出グループⅡ）
学生により，その中から選出される理事２名である．（選出グループⅢ）
第２項　理事会は，外部理事の中から理事会議長と副議長を選出する．
理事一覧
外部理事：
Johannes Due (formand, direktør for Sygeforsikringen danmark)
（理事会議長，デンマーク医療保険組合会長）
Mette Bock (chefredaktør og administrerende direktør for Jydske Vestkysten)
（Jydske Vestkysten 主筆兼社長）
Bent Kristensen (strategidirektør hos Mærsk Data Defence i Sønderborg)
（(株) Mærsk Data Defence 戦略部長）
Karsten Ohrt (direktør for Kunsthallen Brandts Klædefabrik)
（Kunsthallen Brandts Klædefabrik（美術館）館長）
Ninna Würtzen (statsamtmand og stiftamtmand over Fyens Stift)
（アムト議会議員，Fyens 教区委員）
内部選出理事：
Bjarne Andersen (Medarbejderlisten, Valgt af det videnskabelige personale)
（研究者選出）
Jane Westergaard (Liste A, Valgt af det teknisk-administrative personale)
（管理運営専従者選出）

学生選出理事：

Martin Krone Dahl (Stud.merc.)（商学専攻学生）

Anne Katrine Blond (Stud.scient.)（理学専攻学生）

学生選出理事の出身母体について詳細は不明であるが，少なくとも 2003 年当時の理事会委員選出時の情報から学生理事選出の母体が２つあることがわかる[19].

5. まとめ

以上 12 大学それぞれについて学則，理事会構成等を見てきたが，どの大学も大学法での定め通り，最高意思決定機関としての理事会に学生が２名参加しており，理事会に占める大学内選出委員のなかでも大きな力を持っているものと思われる．また，学生理事選出母体がわかるケースにおいては，Studenterrådet や Studentersamfundet といった全学的な学生団体（Københavns Universitet や Syddansk Universitet のように，大学によっては複数の団体がある場合もある）から選出されている．その他のケースでも，基本的に選出方法として af og blandt ～（～によって，～の中から）という表現が用いられ，「学生により，学生の中から」選出されている．冒頭にも述べたが，日本とデンマークでは，その社会的文化的背景が異なり，同じ土俵で考えるべきではないかもしれないが，大学教育がますます国際化していく中で，今回紹介したデンマークでの学生選出理事の例は，今後，日本において学生の視点，学生の立場に立った大学教育の展開を考える上では，避けて通れないものであり，参考になるのではないだろうか.

ちなみに，筆者の所属する金沢大学では，役員（理事・監事），教育研究評議会，経営協議会といった上位意思決定機関には一人も学生は入っていない．学生の大学関連活動への参加としては，一部のプロジェクト，委員会配下のワーキンググループに限られている.

今後，日本においても「より学生の視点を活かした大学運営が，教育・研究両面において，より魅力的な大学づくりに有効である」という考え方が実践されることを願うばかりである.

今回は事例紹介にとどまったが，今後は，デンマークでのこのような大学運営への学生参画の歴史的経緯，他の北欧諸国での大学運営体制およびそれへの学生参画状況についても調べていきたい.

（2006 年 11 月）

注

1. デンマークでは，欧州共通高等教育圏を目指すボローニャプロセスに従い，2007年1月からの大学再編構想が2006年10月4日に公表されたが，大学再編は，まだ実施されていないので本稿では扱っていない．
2. Ministeriet for Videnskab, Teknologi og Udvikling (VTU, http://videnskabsministeriet.dk/) VTUは大学機構，研究・技術革新，IT・情報通信を担当する省庁である．
3. Universitets- og Bygningsstyrelsen (UBST, Danish University and Property Agency, http://www.ubst.dk/
4. Undervisningsministerium, http://www.uvm.dk/
5. http://www.retsinfo.dk/_GETDOCM_/ACCN/A20060028029-REGL
6. http://studentersamfundet.aau.dk/
7. http://studentersamfundet.aau.dk/node/32
8. デンマークの大学における学生の身分には大きく分けて正規課程学生と科目等履修生がある．正規課程学生は，特定の専門分野について定められた科目を履修し学位の取得を目指す．科目等履修生は，特定の専門分野の一部の科目だけを履修する．科目等履修生として履修した単位は，将来，正規課程学生となった場合，単位認定される．
9. http://www.student.dfh.dk/
10. http://www.student.dfh.dk/index.php/DFU_bestyrelsen/8/0/#46
11. http://www.dpu.dk/site.asp?p=18
12. http://www.studenterlauget.dk/
13. http://www.asb.dk/presse/pressemeddelelser/arkiv/2003/20031027/bestyrelse.aspx
14. http://www.dsr.cbs.dk/
15. http://fsr.ku.dk/index.php
16. http://fsr.ku.dk/index.php?id=68
17. http://www.sr.ruc.dk/
18. http://www.sr.ruc.dk/
19. http://www.sr.ruc.dk/download/vedtaegt.pdf
20. http://intern.sdu.dk/sdu/nyheder/valgresultat/

    Karsten Thinggaard (Samarbejdende Studerendes liste) 協力学生リスト

    Martina Christensen (De Studerendes Repræsentantskabs liste) 学生代表リスト

Om studenterrepræsentation i universitetsbestyrelser

Yusuke Horii

Resumé

Denne artikel handler om universitetsbestyrelser og deres medlemmer, som er valgt af og blandt studerende i Danmark. Studerende er selvfølgelig en af de vigtigste spillere og den største interessegruppe på et universitet. Denne tankegang kan man godt forstå i Danmark, fordi studerende kan deltage i bestyrelsen i Danmark. "Bestyrelsen er øverste myndighed for universitet." siger univesitetsloven (Kapitel 3 §10). Der står også "mindst to medlemmer skal være repræsentanter for de studerende." i loven (Kapitel 3 §12 stk. 4). Efter loven har alle 12 universiteter under UBST (Universitets- og Bygningsstyrelsen) godkendt den vedtægt med studerendes valgbarhed. Disse repræsentanter skal betragtes som fuldgyldige medlemmer på linie med de øvrige, der er valgt blandt henholdsvis det videnskabelige og det teknisk- administrative personale.

Uheldigvis findes der kun få eksempler på bestyrelser med studerende i Japan. De fleste bestyrelser i Japan består kun af de medlemer valgt af det videnskabelige personale eller det tekniske-administrative personale.

Der er store konkurrence i højere uddannelse i verden nu for tiden. Næsten alle universiteter søger efter en måde at rekruttere flere og flere dygtige studerende. Jo flere dygtige studerende, der går på et universitet, jo større magt har det. I sådanne situationer vil det være en nøgle til et bedre og stærkere universitet i fremtiden, at studerende deltager i bestyrelsen på universitet.

Som et forslag til japanske universiteter for at udvikle sig til bedre universiteter vises her den danske situation om bestyrelsen med studerende.